

2015年7月23日

博報堂、“2030年の未来の企業の姿”を描き出す 「21世紀未来企業プロジェクト」を発足

2015年10月活動開始に向け、参加企業を募集開始

博報堂のブランディング専門組織「博報堂ブランドデザイン」は、企業・有識者・学生などの多様な関係者（マルチステークホルダー）が一同に集まり、“2030年の未来の企業の姿”を描き出す「21世紀未来企業プロジェクト」を発足いたしました。2015年10月～2016年2月の第一期活動開始に向け、本日より参加企業（※経営企画部門・事業戦略部門・人材開発部門など）の募集を開始いたします。

「21世紀未来企業プロジェクト」は、不確実な未来への準備として、2030年の「社会・企業・人材」のあり方を深く洞察し、世界から賞賛され成長し続ける“21世紀企業”とはいったい何なのかを描き出すことで、企業経営の戦略的な示唆を得るプロジェクトです。これからの時代に求められる「社会・企業・人材」の姿を三位一体で考えることで、①経営・事業戦略における「未来シナリオ」の構築 ②イノベーションや新たなビジネスの機会領域の発掘 ③未来の経営を担うグローバルリーダーシップ人材育成に関する知見を深め、企業の新たな競争力の源泉を生み出すことを目指します。

主な活動として、2030年に向け企業や仕事のあり方を大きく動かさう「政治・経済」「人口動態」「環境」「技術・ICT」「働き方」「グローバル」などについて、有識者のストーリーテリングや先進的な取り組みを現地で体験するスタディツアー、テーマごとの分科会によるインタビュー調査などの手法で情報のインプットを行います。そして、業種や世代を超えた多様な視点から互いの知見を持ち寄り、意見を交わすワークショップをおこなうことで、世界から賞賛され成長し続ける企業が持つべき価値観を共有し、2030年に向けた企業活動のベースとなるシナリオ作成をおこないます。

博報堂ブランドデザインは、昨年、未来の社会と人、教育のあり方を多様なステークホルダーと共に考え、新たな価値を創造するプロジェクト「未来教育会議（2014年2月発足）※」を立ちあげ、2030年の未来の教育シナリオを描きました。企業のあり方と教育のあり方は表裏の関係にあることから、「未来教育会議」では本年度のテーマに“2030年の未来の企業の姿”を掲げ、これまでに蓄積した「共創型プロジェクト運営」「変容型シナリオプランニング」「システム思考」の知見や多彩な人的ネットワークを活用しながら、企画・運営を進めていきます。広く社会、企業、教育、人の関わりを一貫して探求し、豊かな未来を創造する活動を展開していきたいと考えております。

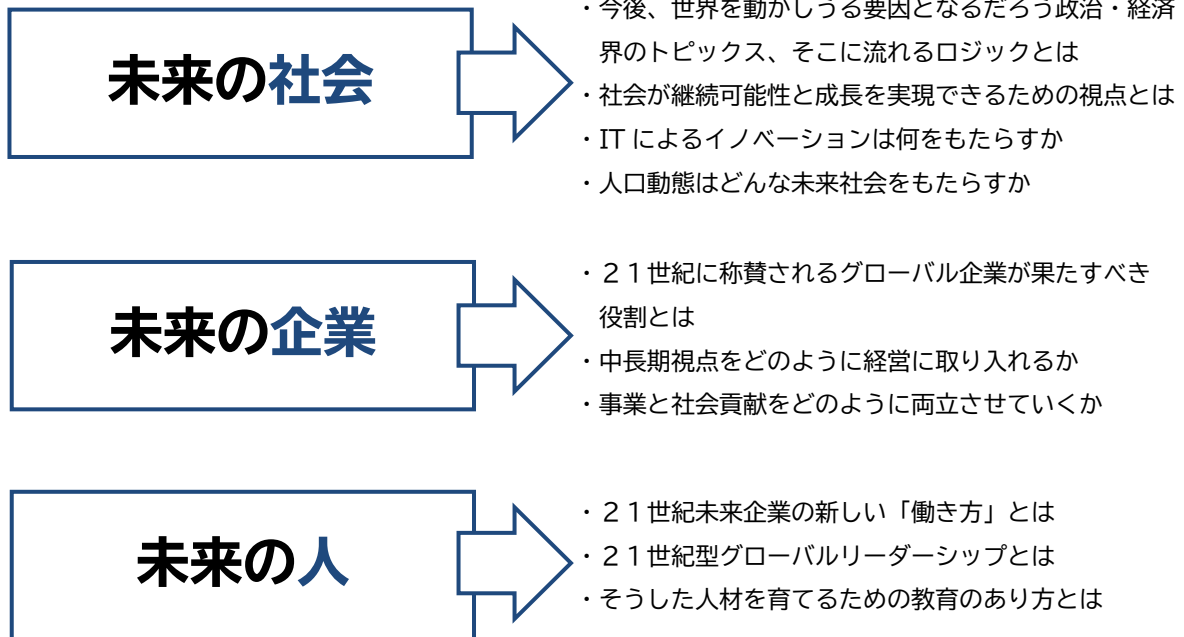
※博報堂、“教育”をテーマに対話し、新たな事業モデルを創出する 新プロジェクト「未来教育会議」を発足、参加企業を募集開始
<http://www.hakuhodo.co.jp/archives/newsrelease/15602> (2014年2月3日ニュースリリース)

本件に関する
お問い合わせ先

株式会社博報堂 博報堂ブランドデザイン 原・兎洞 (TEL:03-6441-7984)
株式会社博報堂 広報室 西本 (TEL:03-6441-6161)

■「21世紀未来企業プロジェクト」のゴール

いま、ビジネスを取り巻く環境は大きく変化の兆しを見せています。「21世紀未来企業プロジェクト」は私たちが主体的に望むような未来を手に入れるために必要な社会の変化について学び、その根底に流れるロジックを抽出することで、2030年に向けて社会・企業・人はどうあるべきか？をベースシナリオにまとめることをゴールとしています。



○経営戦略・事業戦略への示唆

- － 今後の社会の変容を具体かつ俯瞰的に見通す中で、グローバルレベルで企業が持続可能な成長・開発のために果たすべき要件を具体的に知る
- － SDGsなど、今後、グローバル経営上のトピックスについて最新知見を得る
- － CSV(Creating Shared Value)の取組の方向性を見出す

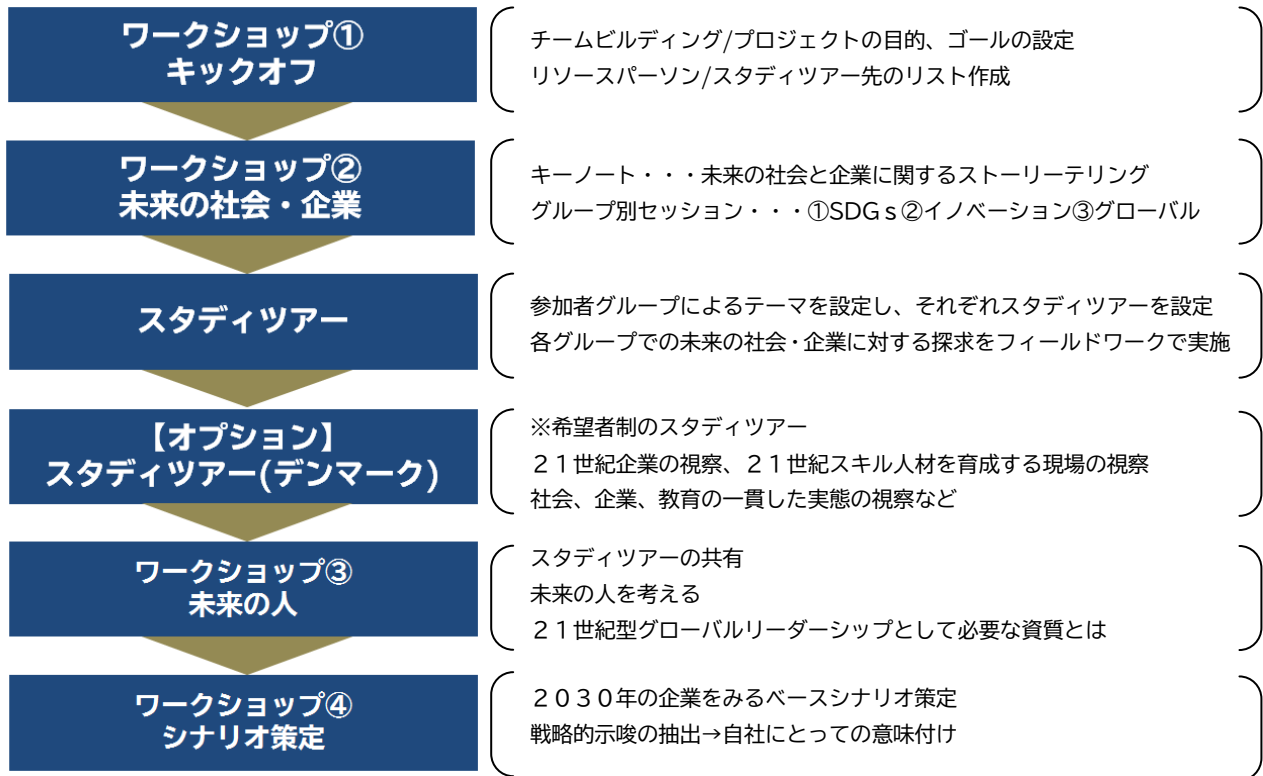
○イノベーションやビジネスの機会領域の発掘

- － ベースシナリオをもとに、新たなビジネス機会領域を発掘する
- － 一組織でできることに加え、複数組織との共創アイデアを発掘する

○グローバルリーダーシップ2.0の育成

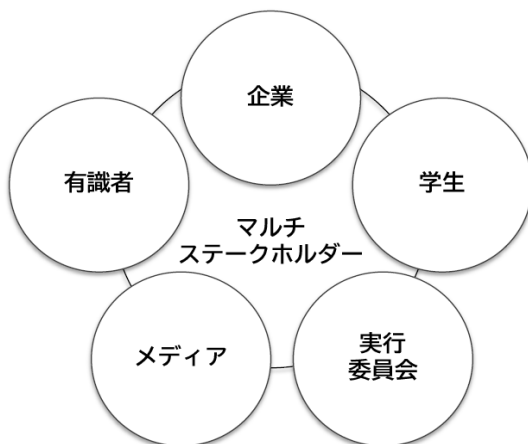
- － 2030年の経営を担う人材として、グローバルでの基礎スキルを備え、イノベーションを実現できるリーダーシップ人材を早期に育成する
- － 自社の人材開発の方向性と具体的手法論を知る

■ 2015年10月～2016年2月の活動骨子



■ 「21世紀未来企業プロジェクト」推進体制

「21世紀未来企業プロジェクト」は、多様な視点から議論を深めることを目的に、企業だけでなくさまざまな関係者(ステークホルダー)から構成してまいります。企画・運営は2014年2月に発足した「未来教育会議」実行委員会が担い推進いたします。



未来教育会議 実行委員会

- ・代表 熊平美香／一般財団法人クマヒラセキュリティ財団
- ・株式会社 教育と探求社
- ・Ideal Leaders (2015年4月より参画)
- ・慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究所
ソーシャルデザインセンター
- ・博報堂(事務局)